

震災の備え



- キリスト教の立場から 3年目の被災地から -

「3年目の」被災地は、「4年目の前年」となっています。「3年目」の風化に抗いながら、「4年目」に危惧されている放射能禍に備えるのが、今の被災地の現実です。その困難の中で、私たちは初心を思い出させられながら、「召命」ということの意味を学びつつあります。

今回、ご一緒に、キリスト教の立場から、震災の備えを考えてみたいと思います。それは、外形的には、ネットワークの強みとして「密着と直結」というキーワードを語ることとなります。そして、内面的には「召命と和解」というキーワードを語ることになるでしょう。

そして、「神義論」にも触れたいと思います。「神も仏もない」と思われる中で、どのようにして祈るのか、という課題です。

私たちが取り組む課題は、被災地から発するものですが、あらゆる不条理の現場に繋がる普遍的な議論を生み出すものと思われまます。ご一緒に取り組むことができますことを、神様の恵みと感謝しています。

と き 2013年5月26日(日) 午後2時～4時

ところ 名古屋 YWCA (地下鉄東山線「栄」駅 5番出口東へ徒歩2分)

講師 東北ヘルプ事務局長 川上 直哉 牧師

(仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク)

入場:無料 (席上献金あり。使途先:東北ヘルプ)



講師紹介

1973年北海道生まれ。神学博士(立教大学)。東京基督教大学に奉職後、現在、日本基督教団仙台市民教会主任担任教師、仙台キリスト教連合世話人、東北学院大学・仙台白百合女子大学非常勤講師、東北大学「実践宗教学寄附講座」運営委員長、世界食料デー仙台大会実行委員長、反貧困みやぎネットワーク代表代行等。

主催:名古屋キリスト教協議会

問合せ先:名古屋中央教会(052-971-9012)